2020年度 地域連携活動報告書

連携先名称:山梨県小菅村

協定締結日:平成18年10月20日

活動状況:継続中

連携先窓口:山梨県小菅村教育委員会 担当:守重公英(もりしげまさひで)

活動資金:自治体予算

担当教員(所属):入江(創成)

活動体制(単位):大学

関連教員(所属):

活動目的:地域資源を活用した地域人材育成と実学教育の実践

活動内容・成果:

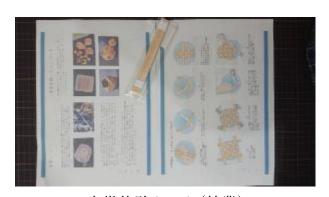
1. 特別講義「多摩川源流大学」を開催した。

本年度は大学のコロナ対策により座学のみ開催、実習(10 回予定)はすべて中止とした。

2. 実習中止に伴う補足教材としてリモート用教材「小菅村体験セット」を小菅村と協同で作成。特別講義「多摩川源流大学」履修者(基礎コース 80 名、応用コース 10 名)に送付。後、学生からレポートを回収。(財源:小菅村寄付金)



鹿革クラフト体験キット(文化)



木帯体験キット(林業)

上記写真の他、大豆の種(農業)および小菅村紹介パンフ等を封入。農業、林業、文化のそれぞれを簡易的に体験できるよう配慮して作成した。

- 3. 本学教員の研究や卒業論文の調査対象地としてフィールドを活用、現地担当者および住民にも協力をいただいた。
- 4. 2020 年度を以て特別講義「多摩川源流大学」を終了することとした。 終了に伴う諸手続について 2021 年 2 月 17 日に小菅村と覚書を締結。

課題・改善点:

- 1. 特別講義の終了に伴う窓口担当事務員の退職による連絡力の低下
- 2. 特別講義終了による現地での学生の学びの機会の減少
- 3. 慢性的な資金不足による活動拡大の困難性